

特別企画：国内主要 109 行の預金・貸出金等実態調査（2020 年 9 月中間期）

貸出金は 30 兆円増の、570 兆 3878 億円

～地域別では「北海道」が預金・貸出金ともに増加率トップ～

はじめに

新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済停滞の緩衝材として、金融機関が存在感を示している。なかでも、制度融資やリスクスケジュール対応など、銀行の柔軟な対応による事業者の倒産回避の功績は大きい。一方、SBIグループの“第4のメガバンク構想”による資本業務提携など地銀再編の動きがあるなかで、地方銀行の先行きを不安視する声も少なくないのが現状だ。

帝国データバンクは、国内主要 109 行（大手銀行 7 行、地方銀行 64 行、第二地方銀行 38 行）の 2020 年 9 月末および 2019 年 9 月末の預金、貸出金の残高および 2020 年 9 月中間期（2020 年 4 月～2020 年 9 月）、2019 年 9 月中間期（2019 年 4 月～2019 年 9 月）の預金利息（支出）、貸出金利息（収入）の推移について調査・分析した。

- ※ 2019 年 12 月発表分（2019 年 9 月中間期データ）は 110 行（大手銀行 7 行、地方銀行 64 行、第二地方銀行 39 行）を調査対象としていたが、2020 年 1 月に徳島（第二地銀）と大正（第二地銀）が合併して徳島大正（第二地銀）となっているため、本レポートでは 2019 年 9 月中間期は 2 行合算の数値を 1 行分として集計している
- ※ 2020 年 10 月 1 日に十八（地銀）と親和（地銀）が合併して十八親和（地銀）となっているが、9 月末時点での数値を調査しているため本レポートでは 2 行分として集計している
- ※ 大手銀行 7 行＝三菱 UFJ、みずほ、三井住友、りそな、埼玉りそな、新生、あおぞら
- ※ 各数値は各行の決算短信等（単体ベース）に記載されている数値（単位：百万円）を採用

調査結果

- 2020 年 9 月末の国内主要 109 行の預金は、846 兆 7341 億 6800 万円となり、2019 年 9 月末（771 兆 8480 億 5700 万円）と比べ、74 兆 8861 億 1100 万円増加（前年比 9.7%増）した。大手銀行（同 11.0%増）、地方銀行（同 8.1%増）、第二地方銀行（同 7.8%増）の 3 業態すべてで増加
- 2020 年 9 月末の国内主要 109 行の貸出金は、570 兆 3878 億 5200 万円となり、2019 年 9 月末（539 兆 6799 億 2100 万円）と比べ、30 兆 7079 億 3100 万円増加（前年比 5.7%増）。大手銀行（同 5.7%増）、地方銀行（同 5.4%増）、第二地方銀行（同 6.9%増）の 3 業態すべてで増加
- 2020 年 9 月中間期の国内主要 109 行の収支＜貸出金利息（収入）－預金利息（支出）＝本業利ざや＞は、2 兆 7406 億 4500 万円となり、2019 年 9 月中間期（2 兆 8421 億 7100 万円）と比べ、1015 億 2600 万円の減少
- 地方銀行、第二地方銀行の計 102 行について、本店所在地（都道府県別）の地域別（9 地域）にみると、すべての地域で預金・貸出金ともに増加。預金の増加率トップは「北海道」（11.0%増）、貸出金の増加率トップも「北海道」（8.2%増）

1. 預金動向 ～全 109 行で増加、74 兆 8861 億円増～

2020 年 9 月末の国内主要 109 行の預金は、846 兆 7341 億 6800 万円となった。過去 3 年間の推移を見ると、2018 年 9 月末 (753 兆 9763 億 2600 万円) から 2019 年 9 月末 (771 兆 8480 億 5700 万円) は 17 兆 8717 億 3100 万円増加 (前年比 2.4%増)。2019 年 9 月末から 2020 年 9 月末は 74 兆 8861 億 1100 万円増加 (前年比 9.7%増) した。大手銀行 (同 11.0%増)、地方銀行 (同 8.1%増)、第二地方銀行 (同 7.8%増) の 3 業態すべてで増加した (3 ページ参照)。

業態別に増減の内訳をみると、大手銀行 (増加 7 行、減少ゼロ行)、地方銀行 (増加 64 行、減少ゼロ行)、第二地方銀行 (増加 38 行、減少ゼロ行) となり、109 行中 109 行 (構成比 100.0%) のすべてで増加した。

また、109 行が 2020 年 9 月中間期 (半年間) に預金者へ支払った預金利息は、2509 億 8100 万円となり、2019 年 9 月中間期 (7682 億 8600 万円) と比べ、5173 億 500 万円減少 (前年同期比 67.3%減)。大手銀行 (同 68.8%減)、地方銀行 (同 55.0%減)、第二地方銀行 (同 27.0%減) の 3 業態すべてで減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行 (増加ゼロ行、減少 7 行)、地方銀行 (増加 1 行、減少 63 行)、第二地方銀行 (増加 1 行、減少 37 行) となり、109 行中 107 行 (構成比 98.2%) で減少した。

預金増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	7	100.0%	0	0.0%	7	100.0%
地方銀行	64	100.0%	0	0.0%	64	100.0%
第二地方銀行	38	100.0%	0	0.0%	38	100.0%
合計	109	100.0%	0	0.0%	109	100.0%

預金利息増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	0	0.0%	7	100.0%	7	100.0%
地方銀行	1	1.6%	63	98.4%	64	100.0%
第二地方銀行	1	2.6%	37	97.4%	38	100.0%
合計	2	1.8%	107	98.2%	109	100.0%

2. 貸出金動向 ～109 行中 105 行で増加、30 兆 7079 億円増～

2020 年 9 月末の国内主要 109 行の貸出金は、570 兆 3878 億 5200 万円となり、2019 年 9 月末 (539 兆 6799 億 2100 万円) と比べ、30 兆 7079 億 3100 万円増加 (前年比 5.7%増)。大手銀行 (同 5.7%増)、地方銀行 (同 5.4%増)、第二地方銀行 (同 6.9%増) の 3 業態すべてで増加した (3 ページ参照)。

業態別の増減の内訳は、大手銀行 (増加 6 行、減少 1 行)、地方銀行 (増加 62

貸出金増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	6	85.7%	1	14.3%	7	100.0%
地方銀行	62	96.9%	2	3.1%	64	100.0%
第二地方銀行	37	97.4%	1	2.6%	38	100.0%
合計	105	96.3%	4	3.7%	109	100.0%

行、減少 2 行)、第二地方銀行 (増加 37 行、減少 1 行) となり、109 行中 105 行 (構成比 96.3%) で増加した。

また、109 行が 2020 年 9 月中間期 (半年間) に融資先から受け取った**貸出金利息**は、2 兆 9916 億 2600 万円となり、2019 年 9 月中間期 (3 兆 6104 億 5700 万円) と比べ、6188 億 3100 万円減少 (前年同期比 17.1%減)。大手銀行 (同 26.7%減)、地方銀行 (同 3.3%減)、第二地方銀行 (同 3.1%減) すべてで減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行 (増加ゼロ行、減少 7 行)、地方銀行 (増加 17 行、減少 47 行)、第二地方銀行 (増加 20 行、減少 18 行) となり、109 行中 72 行 (構成比 66.1%) で減少となった。

貸出金利息増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	0	0.0%	7	100.0%	7	100.0%
地方銀行	17	26.6%	47	73.4%	64	100.0%
第二地方銀行	20	52.6%	18	47.4%	38	100.0%
合計	37	33.9%	72	66.1%	109	100.0%

		2019年9月末	2020年9月末	2019年9月末比 増減額・増減比(%)	
主要109行	預金	771,848,057	846,734,168	74,886,111	9.7
	預金利息	768,286	250,981	▲ 517,305	▲ 67.3
	貸出金	539,679,921	570,387,852	30,707,931	5.7
	貸出金利息	3,610,457	2,991,626	▲ 618,831	▲ 17.1
	貸出金利息－預金利息	2,842,171	2,740,645	▲ 101,526	▲ 3.6
大手銀行 (7行)	預金	438,039,132	486,121,366	48,082,234	11.0
	預金利息	707,070	220,400	▲ 486,670	▲ 68.8
	貸出金	274,657,709	290,445,533	15,787,824	5.7
	貸出金利息	2,175,044	1,595,240	▲ 579,804	▲ 26.7
	貸出金利息－預金利息	1,467,974	1,374,840	▲ 93,134	▲ 6.3
地方銀行 (64行)	預金	272,025,728	294,015,673	21,989,945	8.1
	預金利息	50,448	22,723	▲ 27,725	▲ 55.0
	貸出金	216,756,462	228,360,261	11,603,799	5.4
	貸出金利息	1,147,782	1,109,799	▲ 37,983	▲ 3.3
	貸出金利息－預金利息	1,097,334	1,087,076	▲ 10,258	▲ 0.9
第二地方 銀行 (38行)	預金	61,783,197	66,597,129	4,813,932	7.8
	預金利息	10,768	7,858	▲ 2,910	▲ 27.0
	貸出金	48,265,750	51,582,058	3,316,308	6.9
	貸出金利息	287,631	278,729	▲ 8,902	▲ 3.1
	貸出金利息－預金利息	276,863	270,871	▲ 5,992	▲ 2.2

※2019年9月末は徳島大正銀行発足により、徳島銀行と大正銀行の合計値で集計

単位: 百万円

3. 利ざや動向 ～109 行中 55 行で減少～

2020 年 9 月中旬期の国内主要 109 行の収支<貸出金利息(収入)－預金利息(支出)＝**本業利ざや**>は、2 兆 7406 億 4500 万円となり、2019 年 9 月中旬期(2 兆 8421 億 7100 万円)と比べ、1015 億 2600 万円の減少(前年同期比 3.6%減)となった。大手銀行(同 6.3%減)、地方銀行(同 0.9%減)、第二地方銀行(同 2.2%減)の 3 業態すべてで減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行(増加 1 行、減少 6 行)、地方銀行(増加 30 行、減少 34 行)、第二地方銀行(増加 23 行、減少 15 行)となり、109 行中 55 行(構成比 50.5%)で減少した。

利ざや増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	1	14.3%	6	85.7%	7	100.0%
地方銀行	30	46.9%	34	53.1%	64	100.0%
第二地方銀行	23	60.5%	15	39.5%	38	100.0%
合計	54	49.5%	55	50.5%	109	100.0%

4. 地域別動向 ～預金・貸出金の増加率トップは「北海道」～

地方銀行、第二地方銀行の計 102 行について、本店所在地(都道府県別)の地域別(9 地域)にみると、2019 年 9 月中旬期と比べ、すべての地域で預金・貸出金ともに増加した。

預金の増加率上位は「北海道」(11.0%増)、「九州」(8.9%増)、「中国」(8.6%増)。貸出金の増加率上位は「北海道」(8.2%増)、「九州」(7.8%増)、「近畿」(6.6%増)。

一方、預金利息と貸出金利息は、すべての地域で減少した。預金利息の減少率上位は「関東」(60.9%減)、「中部」(53.7%減)、「九州」(53.2%減)。貸出金利息の減少率上位は「中国」(4.7%減)、「四国」(4.5%減)、「中部」(4.2%減)。

		2019年9月末	2020年9月末	2019年9月末比 増減額・増減比(%)	
北海道 (2行)	預金	13,198,819	14,655,496	1,456,677	▲ 11.0
	預金利息	351	238	▲ 113	▲ 32.2
	貸出金	10,253,309	11,097,131	843,822	8.2
	貸出金利息	49,774	49,718	▲ 56	▲ 0.1
	貸出金利息－預金利息	49,423	49,480	57	0.1
東北 (15行)	預金	32,481,985	34,912,144	2,430,159	7.5
	預金利息	2,715	1,769	▲ 946	▲ 34.8
	貸出金	23,013,872	24,091,147	1,077,275	4.7
	貸出金利息	115,065	114,170	▲ 895	▲ 0.8
	貸出金利息－預金利息	112,350	112,401	51	0.0
関東 (15行)	預金	74,239,738	80,533,028	6,293,290	8.5
	預金利息	15,123	5,914	▲ 9,209	▲ 60.9
	貸出金	60,228,288	62,688,248	2,459,960	4.1
	貸出金利息	327,812	317,540	▲ 10,272	▲ 3.1
	貸出金利息－預金利息	312,689	311,626	▲ 1,063	▲ 0.3
北陸 (9行)	預金	22,834,651	24,735,988	1,901,337	8.3
	預金利息	1,908	1,327	▲ 581	▲ 30.5
	貸出金	16,594,462	17,074,082	479,620	2.9
	貸出金利息	80,152	78,480	▲ 1,672	▲ 2.1
	貸出金利息－預金利息	78,244	77,153	▲ 1,091	▲ 1.4
中部 (16行)	預金	57,669,911	61,882,743	4,212,832	7.3
	預金利息	13,779	6,380	▲ 7,399	▲ 53.7
	貸出金	45,058,444	47,828,795	2,770,351	6.1
	貸出金利息	257,280	246,566	▲ 10,714	▲ 4.2
	貸出金利息－預金利息	243,501	240,186	▲ 3,315	▲ 1.4

*2019年9月末は徳島大正銀行発足により、徳島銀行と大正銀行の合計値で集計

		2019年9月末	2020年9月末	2019年9月末比 増減額・増減比(%)	
近畿 (7行)	預金	32,594,010	34,724,593	2,130,583	6.5
	預金利息	6,704	3,942	▲ 2,762	▲ 41.2
	貸出金	25,812,695	27,512,708	1,700,013	6.6
	貸出金利息	130,554	129,546	▲ 1,008	▲ 0.8
	貸出金利息－預金利息	123,850	125,604	1,754	1.4
中国 (9行)	預金	29,377,625	31,892,823	2,515,198	8.6
	預金利息	8,228	4,930	▲ 3,298	▲ 40.1
	貸出金	23,885,149	25,246,233	1,361,084	5.7
	貸出金利息	127,629	121,571	▲ 6,058	▲ 4.7
	貸出金利息－預金利息	119,401	116,641	▲ 2,760	▲ 2.3
四国 (8行)	預金	21,247,196	22,623,123	1,375,927	6.5
	預金利息	6,177	3,168	▲ 3,009	▲ 48.7
	貸出金	16,348,151	17,176,135	827,984	5.1
	貸出金利息	101,227	96,717	▲ 4,510	▲ 4.5
	貸出金利息－預金利息	95,050	93,549	▲ 1,501	▲ 1.6
九州 (21行)	預金	50,164,990	54,652,864	4,487,874	8.9
	預金利息	6,231	2,913	▲ 3,318	▲ 53.2
	貸出金	43,827,842	47,227,840	3,399,998	7.8
	貸出金利息	245,920	242,078	▲ 3,842	▲ 1.6
	貸出金利息－預金利息	239,689	239,165	▲ 524	▲ 0.2
102行 合計	預金	333,808,925	360,612,802	26,803,877	8.0
	預金利息	61,216	30,581	▲ 30,635	▲ 50.0
	貸出金	265,022,212	279,942,319	14,920,107	5.6
	貸出金利息	1,435,413	1,396,386	▲ 39,027	▲ 2.7
	貸出金利息－預金利息	1,374,197	1,365,805	▲ 8,392	▲ 0.6

単位：百万円

5. まとめ

2020 年 9 月末の国内主要 109 行の貸出金は、570 兆 3878 億 5200 万円となり、2019 年 9 月末と比べ、30 兆 7079 億 3100 万円増加（前年比 5.7%増）した。2018 年 9 月末と 2019 年 9 月末を比べると、8 兆 1031 億 900 万円の増加（前年比 1.5%増）であり、例年と比べて大幅に増加した。この背景には、新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会情勢の変化がある。制度融資による資金調達を行った企業が多数あったほか、制度融資の対象外となった大企業においても新型コロナウイルス対応として資金調達する動きがあった。

また、2020 年 9 月末の国内主要 109 行の預金は、846 兆 7341 億 6800 万円となり、2019 年 9 月末と比べ、74 兆 8861 億 1100 万円増加（前年比 9.7%増）した。これは、前述した制度融資などで企業が調達した資金は各企業の口座に入金されるため、預金の増加要因となった。また、個人に一律 10 万円が支給された特別定額給付金、中小企業・個人事業主向けに支給された持続化給付金なども増加要因となっている。

一方、109 行が預金者へ支払った預金利息は、2019 年 9 月中間期（7682 億 8600 万円）と比べ 2020 年 9 月中間期（2509 億 8100 万円）は減少。同じく貸出金利息も、2019 年 9 月中間期（3 兆 6104 億 5700 万円）と比べ 2020 年 9 月中間期（2 兆 9916 億 2600 万円）は減少した。これに伴い、利ざやも減少し、前年同期比で 1015 億 2600 万円減少（前年同期比 3.6%減）している。

このコロナ禍においては、銀行を経由して企業に資金が注入されたことで、大いに倒産回避の効果があったものとみられる。一方、銀行の本業利ざやが悪化するなど、延命措置には副作用もある点に留意する必要があるだろう。今後は、地銀再編をキーワードとした金融界の再編や、今年 11 月に金融庁が設置した「事業者を支える融資・再生実務のあり方に関する研究会」などで議論されている事業性評価の動向が銀行決算に大きな影響を与えていくこととなるであろう。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株)帝国データバンク 東京支社 情報部 綴木・佐古

TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。